

2017年6月期 決算補足資料

2017.08.14

日本工営株式会社

IRに関するお問い合わせ：経営企画部 コーポレートコミュニケーション室 03-5276-2454

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

2017年6月期 実績

受注高、売上高、営業利益、経常利益とも過去最高を更新。

(単位:百万円)	2016.6期 実績	2017.6期 実績	前期比		2017.6期 計画	計画比	
			増減	比率		増減	比率
受注高※	104,019	117,442	13,422	112.9%	114,000	3,442	103.0%
売上高	81,865	101,338	19,472	123.8%	105,000	△ 3,661	96.5%
売上総利益	22,359	30,937	8,577	138.4%	29,500	1,437	104.9%
営業利益	4,723	5,464	741	115.7%	6,000	△ 535	91.1%
経常利益	4,365	5,958	1,592	136.5%	6,300	△ 341	94.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,823	3,288	1,464	180.3%	3,600	△ 311	91.3%

- 受注高: コンサルタント国内事業・コンサルタント海外事業がけん引し前期および計画を上回る
- 売上高: 3期連続で過去最高額達成。コンサルタント海外事業、電力エンジニアリング事業の大型案件期ずれが影響し計画には届かず
- 営業利益: 過去最高益を達成。コンサルタント国内事業、コンサルタント海外事業が好調で前期比増益も、計画は下回る
- 経常利益: 2期ぶりに過去最高益を更新
- 当期純利益: 前期を大幅に上回るも、計画は下回る

※2017年6月期より、受注高の算出基準を変更しております。2016年6月期実績についても同様の基準にて算出した数値を記載しております。

※BDP社は決算期を3月から6月に変更し、2017年6月期は2016年4月～2017年6月の15ヶ月分の業績を連結しております。

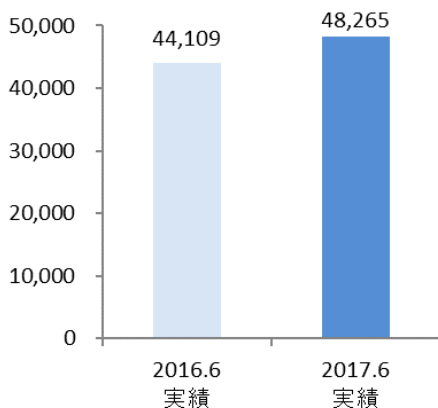
セグメント別実績(受注高)

(単位:百万円)	2016.6期 実績	2017.6期 実績	前期比		計画比	
			増減	比率	増減	比率
受注高	104,019	117,442	13,422	112.9%	3,442	103.0%
コンサルタント国内	44,109	48,265	4,155	109.4%	265	100.6%
コンサルタント海外	28,876	41,573	12,696	144.0%	5,573	115.5%
電力エンジニアリング	14,716	14,087	△ 629	95.7%	△ 1,912	88.0%
都市空間	16,251	13,460	△ 2,790	82.8%	△ 539	96.1%
その他	64	55	△ 8	86.3%	55	-

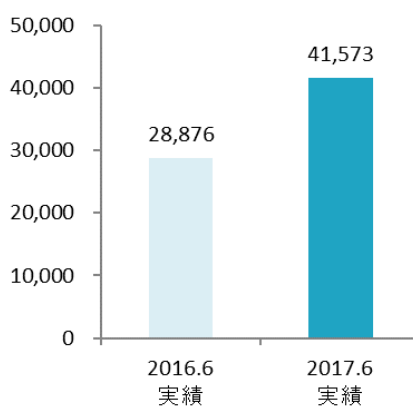
※2017年6月期より、受注高の算出基準を変更しております。2016年6月期実績についても同様の基準にて算出した数値を記載しております。

※BDP社は決算期を3月から6月に変更し、2017年6月期は2016年4月～2017年6月の15ヶ月分の業績を連結しております。

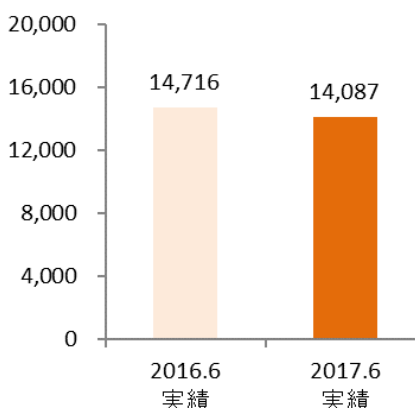
■コンサルタント国内



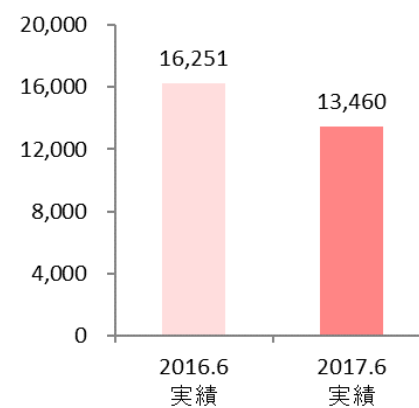
■コンサルタント海外



■電力エンジニアリング



■都市空間

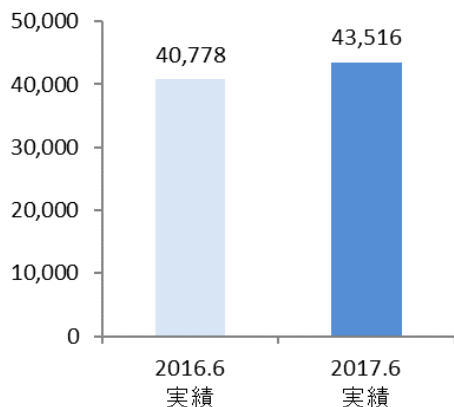


セグメント別実績(売上高)

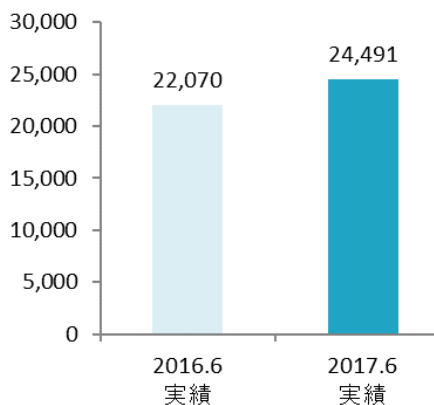
(単位:百万円)	2016.6期 実績	2017.6期 実績	前期比		計画比	
			増減	比率	増減	比率
売上高	81,865	101,338	19,472	123.8%	△3,661	96.5%
コンサルタント国内	40,778	43,516	2,738	106.7%	△1,483	96.7%
コンサルタント海外	22,070	24,491	2,420	111.0%	△1,508	94.2%
電力エンジニアリング	17,522	17,577	54	100.3%	△922	95.0%
都市空間	-	14,347	-	-	347	102.5%
不動産賃貸	514	473	△40	92.1%	△26	94.8%
その他	979	931	△47	95.1%	△68	93.1%

※BDP社は決算期を3月から6月に変更し、2017年6月期は2016年4月～2017年6月の15ヶ月分の業績を連結しております。

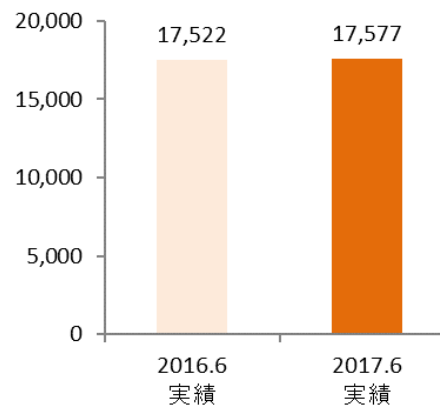
■コンサルタント国内



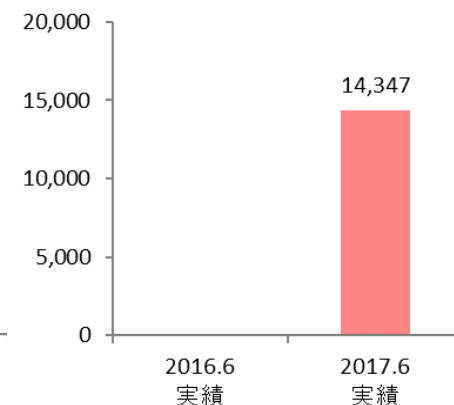
■コンサルタント海外



■電力エンジニアリング



■都市空間

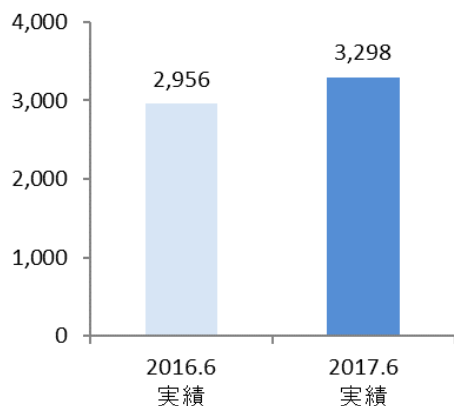


セグメント別実績(営業利益)

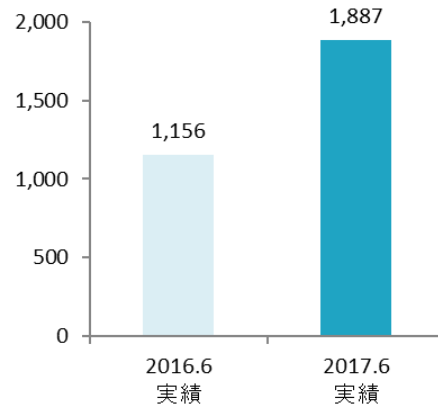
(単位:百万円)	2016.6期 実績	2017.6期 実績	前期比		計画比	
			増減	比率	増減	比率
営業利益	4,723	5,464	741	115.7%	△535	91.1%
コンサルタント国内	2,956	3,298	341	111.6%	98	103.1%
コンサルタント海外	1,156	1,887	730	163.2%	287	118.0%
電力エンジニアリング	3,048	2,683	△364	88.0%	△416	86.6%
都市空間	-	81	-	-	△518	13.5%
不動産賃貸	386	401	14	103.9%	1	100.3%
その他・全社費用	△2,824	△2,886	△62	-	13	-

※BDP社は決算期を3月から6月に変更し、2017年6月期は2016年4月～2017年6月の15ヶ月分の業績を連結しております。

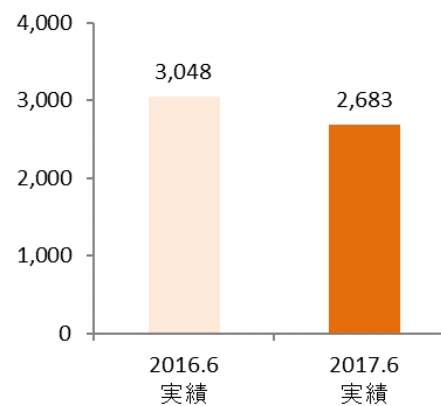
■コンサルタント国内



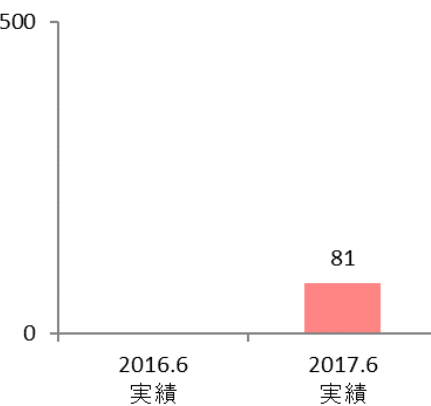
■コンサルタント海外



■電力エンジニアリング



■都市空間



セグメント別概況

コンサルタント国内

- 受注高は、防災・減災等 重点事業領域の好調、国関連案件の増加(技術競争力向上)により前期および計画を上回る
- 売上高は、受注増加に伴う手持受注高増により前期比増収、連結子会社の大型案件期ずれにより計画を下回る
- 営業利益は、品質向上による不採算案件の減少、国関連の高利益率案件の増加により前期および計画を上回る



土砂災害箇所での現地調査(南阿蘇村)

コンサルタント海外

- 受注高はカイロ地下鉄4号線、ダッカ空港拡張、イラク電力セクター復興フェーズなど大型案件受注が貢献し前期および計画を大きく上回る
- 売上高は前期を上回るも、一部案件の完工が来期へ繰越し計画を下回る
- 営業利益は収益管理システムの順次導入により不採算案件の減少など利益率が改善し、前期および計画を上回る



カイロ地下鉄4号線第一期整備事業に係るコンサルティング業務

セグメント別概況

電力エンジニアリング

- 受注高は、大型案件の成約時期の遅れにより前期および計画を下回る
- 売上高は前期並みも、大型案件の成約の遅れにより計画を下回る
- 営業利益は、コスト削減を徹底したものの、国内外の水力発電の旺盛な需要に対応するため人員増を行った結果、前期および計画を下回る



碓発電所 更新プロジェクト

都市空間

- 受注高・売上高は、Brexit影響を受けた教育関連施設受注の遅れが影響
- 営業利益は、売上高の伸び悩みに加え為替(ポンド安)が影響

※ BDP社は決算期を3月から6月に変更し、2017年6月期は2016年4月～2017年6月の15ヶ月分の業績を連結しております。

※ 2017年6月期の償却費は約10億円(のれん:約5億円、その他無形固定資産:5億円強)、15ヶ月で約12.5億円です。

※ 2017年6月期実績レート 1£=145.16円 (2017年6月期計画レート1£=160円)



ウェストミンスター宮殿 大改修関連事業

2018年6月期 見通し

「投資と連携」をテーマに、次期中期経営計画に向けた基盤作りに注力。
技術政策、人財確保、営業体制整備、新事業への投資を拡大。

(単位:百万円)	2018.6期 計画	2017.6期 業績	前期比		2018.6期 参考値 ※
			増減	比率	
受注高	103,000	117,442	△14,442	87.7%	103,000
売上高	114,000	101,338	12,662	112.4%	104,000
- コンサルタント国内	47,200	43,516	3,684	108.4%	43,000
- コンサルタント海外	31,800	24,491	7,309	129.8%	28,200
- 電力エンジニアリング	21,200	17,577	3,623	120.6%	19,100
- 都市空間	12,000	14,347	△2,347	83.6%	12,000
- エネルギー・不動産他	1,800	1,405	395	128.1%	1,700
営業利益	7,700	5,464	2,236	140.9%	5,800
- コンサルタント国内	3,500	3,298	202	106.1%	2,700
- コンサルタント海外	2,400	1,887	513	127.1%	2,000
- 電力エンジニアリング	3,500	2,683	817	130.4%	2,800
- 都市空間	50	81	△31	61.7%	50
- エネルギー・不動産・本社	△1,750	△2,485	735	-	△1,750
経常利益	7,800	5,958	1,842	130.9%	6,000
親会社株主に帰属する当期純利益	4,900	3,288	1,612	149.0%	3,600
営業利益率(%)	6.8	5.4			
ROE(%)	8.7	6.2			

※ 2018年6月期計画を
従来基準(完成基準)で算出した参考値

※2018年6月期より売上計上基準を変更します。同期通期業績予想は、この変更を反映した数値です。詳細は当資料10ページをご確認ください。

BDP社の決算期変更(2017年6月期より)

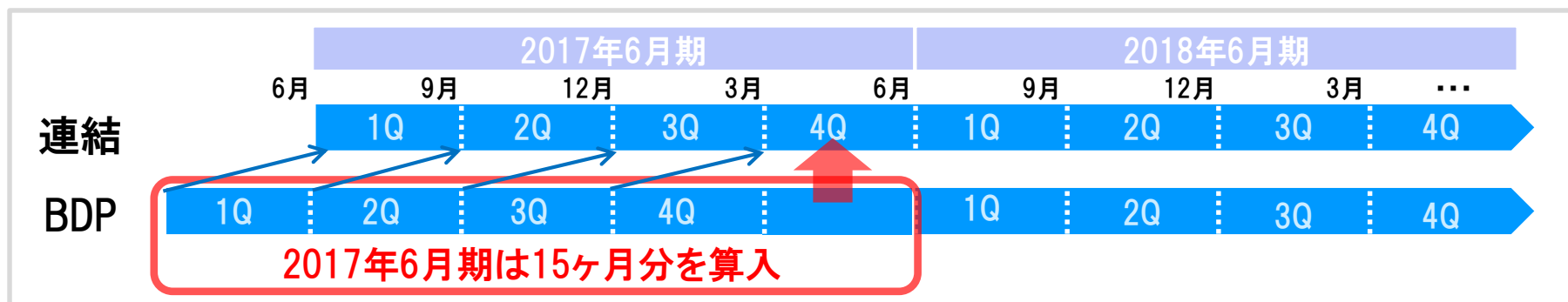
2017年6月期より、BDP社の決算期を3月から6月に変更しました。

■変更理由

- ・ 長期ビジョンのもと、当社グループの決算期を統一し、効率的な事業運営を推進
- ・ 経営情報の迅速な把握および適時適切な開示による経営の透明性向上

■2017年6月期業績への影響

- ・ BDP社の2016年4月～2017年6月(15ヶ月分)を連結
- ・ 償却費は、約10億円(のれん:約5億円/ 20年償却、その他無形固定資産:5億円強)に3ヶ月分の約2.5億円を加算



【参考】都市空間事業 2017年6月期 四半期業績

(単位:百万円)	2016.4-6 (1Q)	2016.7-9 (2Q)	2016.10-12 (3Q)	2017.1-3 (4Q)	2017.4-6	2017.6期 累計実績	2017.6期 計画
受注高	2,806	2,749	1,970	2,996	2,939	13,460	14,000
売上高	3,260	2,733	2,615	2,973	2,766	14,347	14,000
営業利益	76	△ 0	△ 26	22	9	81	600

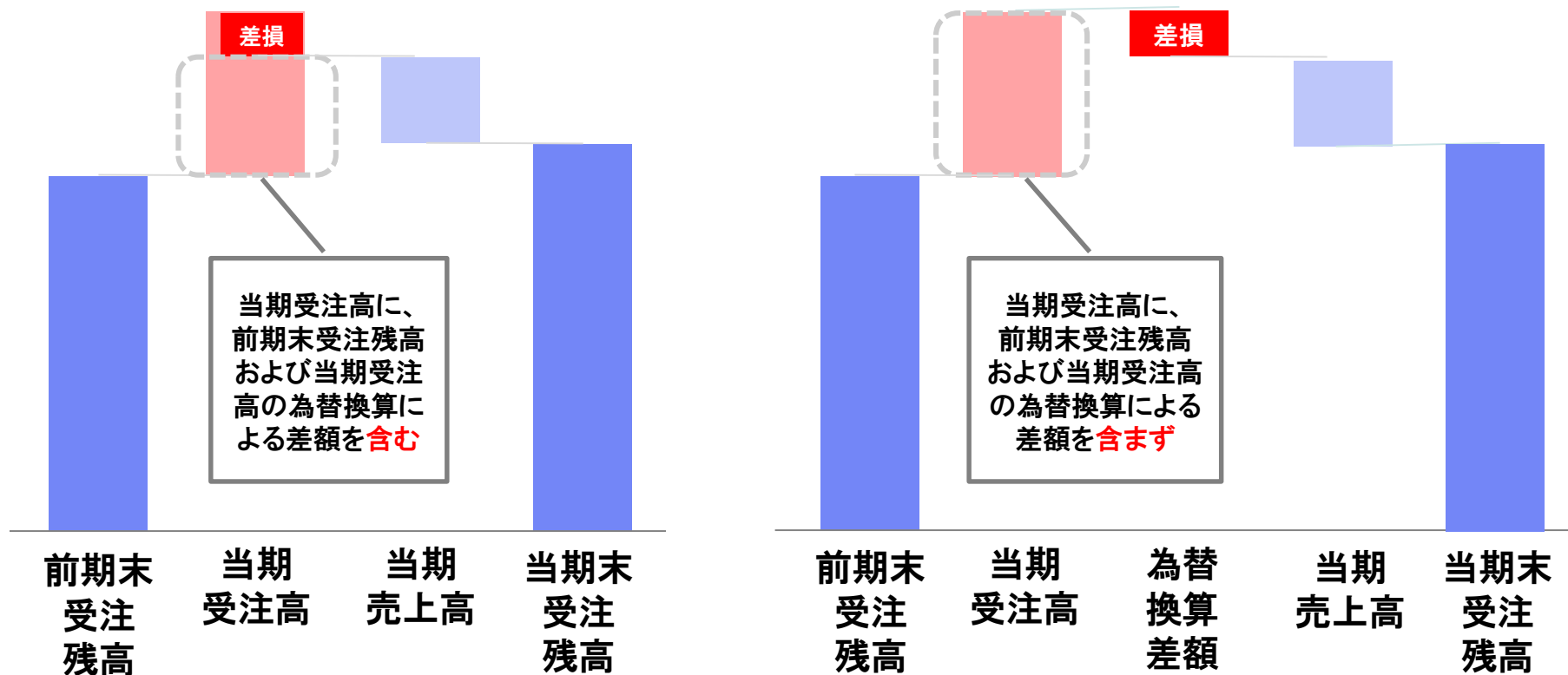
※実績レート:1ポンド=145.16円 計画為替レート:1ポンド=160円

受注高の算出基準変更(2017年6月期より)

従来の受注高実績には、前期末受注残高および当期受注高の為替換算による差額(*)を含んでおりましたが、2017年6月期より為替換算による差額を除いた受注高を記載しております。

■従来の算出方法

■今期からの算出方法



(*)前期末受注残高および当期受注高の為替換算による差額(為替影響額)は、決算短信21ページに記載しております。

売上計上基準の変更(2018年6月期より)

2018年6月期より、売上計上基準を原則として「完成基準」から「進行基準」に変更します。
業務の進捗に応じて、売上と売上原価を計上します。

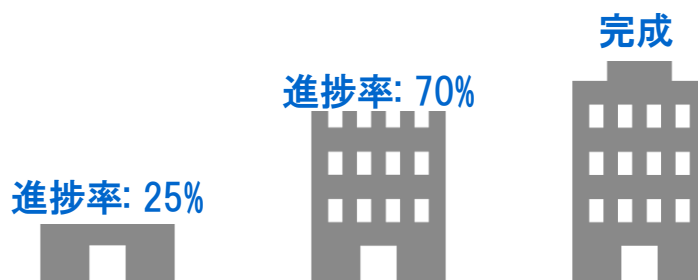
進行基準の計算方法

$$\text{売上高} = \text{見積収益総額} \times \text{進捗率} - \text{前期までの累計売上高}$$

$$\text{進捗率} = \frac{\text{発生費用(稼働・外注・交通費等)累計}}{\text{見積費用総額}}$$

進行基準による売上計上のイメージ

例：契約期間3年、契約金額3,000万円のプロジェクトの場合



すべての業務が完了した時に売上の全額を計上

業務途中でも進捗率に応じて売上を計上

	1年目	2年目	3年目	合計
旧 完成基準	0	0	3,000	3,000
新 進行基準	750	1,350	900	3,000

$$3,000 \times 25\%$$

$$3,000 \times 70\% - 750$$

$$3,000 \times 100\% - 750 - 1,350$$

(*)2018年6月期通期業績予想は、この変更を反映した数値です。